

千葉県がん対策推進計画の進捗状況と評価(小児がん等の対策 平成29年6月時点)

| 施策の体系 | | | 施策の方向 | 実施主体 | 進捗状況 | 評価 | 課題及び今後の取組 | |
|---------|-----------------|---|---|--|---|--|---|--|
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | | | | | | |
| 2 医療 | (3) 小児がん等の対策 | | 小児がんの連携体制の整備 | | | | | |
| | | | ○小児がんについては、小児がん拠点病院整備等の国の動向を十分踏まえながら、県内の医療資源等の実態把握とともに、県内のがんや小児医療を担う医療機関等の関係者との連携のための検討を行います。 | 県 | ○県内医療機関のネットワーク化及び小児がん患者とその家族等への支援体制の整備を検討する基礎資料とするため、医療機関実態調査を実施し、千葉県ホームページにて結果を公開した。(H27～29年度) | ○施策の方向の内容を達成している。 | ○引き続き、医療機関実態調査を定期的実施することで、県内の実態把握を継続するとともに、最新の情報を提供できるようにする。 | |
| | | | 小児がん研究の推進 | | | | | |
| | | | ○千葉県がんセンターや千葉大学を中心に小児がん研究を推進します。 | 県がんセンターや千葉大学等 | ○千葉県がんセンター研究所がん先進治療開発研究室において、小児がん(特に神経芽腫)の発がん研究を中心に分子遺伝学的研究が進められている。 ○日本全国の小児がん研究グループが一体化し、小児がん全体を対象とするNPO法人日本小児がん研究グループ(JCCG)が平成27年6月に発足、千葉県内の8病院が参加施設となっている。 | ○施策の方向の内容を達成している。 | ○引き続き、千葉県がんセンター研究所において、小児がんに対する研究を推進する。 ○小児がん研究がより一層推進されるよう、県内の小児がん医療施設がJCCGへの参加を継続する。 | |
| | | | 希少がんへの対応 | | | | | |
| | | ○国の基本計画において、「希少がんに関する標準的治療の提供体制、情報の集約・発信、相談支援、研究開発等のあり方について、希少がんが数多く存在する小児がん対策の進捗等を参考にしながら検討する」としており、これらの状況を踏まえて、必要な対応を検討します。 | 県 | ○県内小児がん患者団体の会員を対象に調査を実施し、入院中の問題、外来通院中の問題、晩期合併症の問題、県のがん対策に対する意見等、課題とニーズ等を把握した。(H25年度) ○相談支援施策として、小児がん患者とその家族向け情報提供冊子を作成、配布した。(H27～29年度) ○闘病中の患者や家族の支援活動に参加できる人材の発掘と育成を目的とし、ピアサポート養成研修会を実施した。(H28～29年度) ○小児慢性特定疾病児童等自立支援事業で相談に対応している。(H27年度～) | ○施策の方向の内容を達成している。 | ○小児がん実態調査から、連携体制の強化による切れ目のない支援を求めていることがわかり、連携の強化、ネットワーク化のための課題抽出と課題解決に向けた具体的な取組の検討を行っていく必要がある。 ○小児がん実態調査から、退院後も相談のできる場所やピアサポートが求められていることがわかり、ピアサポート相談の実現に向けて、人材育成と活動の場の確保に努めていく。 ○小児がんをはじめとした希少がんについて医療提供等の情報が不足していることから、ホームページや小児がん患者用冊子等を用いて周知に努める。 ○情報提供冊子による情報提供について、実際に受け取った患者・家族、医療者側の意見を反映させながら、修正を加え、内容の充実を図っていく。 | | |